

—— 総務委員会 ——

委員長	小杉 朋希
副委員長	平尾 稔幸
副委員長	宮崎 正之
副委員長	石塚 和彦

1) 2014年度通常総会

- 2014年5月8日(木) 東京ドームホテル札幌  
支部総会 : 議案につき可決承認された。  
総会員数163名 総会出席者 85名(内、書面表決32名、委任状12名)
- 表彰式 : 学生卒業設計コンクール
- 意見交換会 : 賛助会員及び来賓を交えて意見交換会を開催。

2) 「JIA北海道建築展2015」 レセプションパーティー(通常新年交礼会)

- 2015年1月23日(金) 京王プラザホテル札幌
- 例年行われている新年交礼会を、本年度事業の「JIA建築展2015」のレセプションに替えて行った。  
レセプションパーティー: 協力会との共催で企画運 総参加者計123名  
出席者正会員57名 協力会員60名(37社)

3) 支部総務委員会

- 会員名簿の新改訂版を作成。会員に1部配布。協力会に数部毎配布しおおいに営業に活用してもらうことを目的とする。
- 各事業への協力。特に2015年1月22~25日まで開催された「JIA北海道建築展2015」においては、事業予算策定等の活動を行った。
- 入退会に関する事務手続き。

4) 本部総務委員 無し

## — 職能業務委員会 —

委員長 齊藤文彦  
副委員長 中原隆一  
副委員長 小倉寛征

本委員会では、

- ① 北海道建築設計会議
  - ② その他、発注団体、関係団体による会議
- についての活動を行った。

何れも業務環境の向上と他団体との情報共有を目的としている。

- ① 北海道建築設計会議（建築設計関連の 11 団体(10 団体+新聞社)で構成している北海道独自の会議)、に毎月の参加活動を実施している。昨年度は計 10 回開催され、特に各団体の法人化情報や、各会の動向について情報交換を行った。25 年度は、JIA 北海道大会において、札幌市地下歩行空間での展示の一つとして当会議および参加団体のパネル展示を行った。なお、9 月まで昨年から 1 年間代表幹事を務めた。
- ② その他関係団体による会議：北海道開発局、北海道、札幌市、建築士会、建築士事務所協会と JIA による公共建築設計懇談会幹事会に出席し、公共の取り組みや業務上の課題について確認・協議した。また、全道確認円滑化対策連絡協議会及び全道建築行政連絡会議への対応も行った。

委員会としては、今後も建築家の職能と業務品質の向上を目指し活動していく。また、セミナーなども開催したい。

— 広報委員会 —

2014年度の活動報告

本年度は昨年度と同様に、広報担当、システム担当、出版担当に分かれての活動と共に、各担当、各委員会の枠を超え皆で、1月に開催されたJIA北海道建築展に全力で臨みました。

北海道建築展では、協力会員の皆様のご協力をはじめ、支部の皆様とともに準備をすすめていただき、展覧会期には会員、関係者の皆様のご参加と共に、沢山の一般の方々のご参加も賜われたのかと顧みるところでございます。

出版担当はこれまで3年毎に出版してきました「建築家カタログ」を、来年度の諸事業計画と連携をとりながら出版時期を再考するとともに、その準備を進めています。

支部ホームページも引き続き、随時マイナーチェンジをしておりますので、皆様からお気づきの点、ご意見等も頂戴できれば幸いです。

- 委員長 : 照井康穂
- 広報担当 副委員長 : 日野佳子  
委 員 : 大坂崇徳、小倉寛征、小杉朋希、高尾浩宣、  
平尾稔幸、湊谷みち代、山内圭吉
- HP システム担当 副委員長 : 大塚達也  
委 員 : 石塚和彦、沢田貞和
- 出版担当 副委員長 : 岡田順博  
委 員 : 石塚和彦、大杉崇、灘本幸子、前川尚治

—— 事業委員会 ——

委員長 五十嵐 雄祐  
副委員長 山内 圭吉  
副委員長 豊山 孝雄

1) 建築展・講演会・活動

・第19回 AIJ-JIA ジョイントセミナー

7/18 「歴史的資産を守り・育て・伝える」開催。

会場：旧永山武四郎邸・旧三菱鉱業寮

講師：北海道大学名誉教授 角幸博先生

・北のジュニアオープンデスク（教育委員会）

8月4～8月12日：オープンデスク開催 旭川工業高校1人（大矢建築研究室）、  
小樽工業高校1人（エージー総合設計）

・高校生デザインコンクール

平成26年6月6日 第1回実施運営委員会に参加 募集要項の検討承認

平成26年9月12日 作品選定委員会 審査員として JIA より遠藤謙一良

平成27年12月15日 第2回実施運営委員会に参加 事業報告会

○ここ数年大きな大会が多く小中事業の展開が手薄になっていたが今後はより積極的な事業の開催が望まれる。

## —旭川会—

委員長 軽部 望

副委員長 北島 法

- 2014/4/08 【2014年度第1回旭川会会議】2014年度活動報告、2014年度活動計画  
旭川会運営体制について、支部長会議の旭川開催について他
- 2014/4/22 【2014年度第2回旭川会会議】支部長会議の旭川、旭川市総合庁舎展開催について
- 2014/4/22 【Asahikawa School 12 「北教大旭川校の改修工事とサイン計画について」】開催
- 2014/5/08 【2014年度北海道支部通常総会】軽部、大矢、石田 出席
- 2014/5/27 【2013年度旭川会臨時打合せ】
- 2014/6/03 【Asahikawa School 13 「旭川市役所総合庁舎～建設当時をふりかえって」】開催
- 2014/6/13 【JIA全国支部長会議 in 旭川】JR旭川駅舎～買物公園～旭川市役所総合庁舎ご案内。  
扇松園にて旭川会メンバーも会議に同席
- 2014/6/14 【JIA全国支部長会議 in 旭川～二日目】旭川会メンバーで動物園、北方建築総合研究所  
旭川家具センター（織田コレクション）ハンスウエグナー展などご案内
- 2014/7/18 【2014年度第3回旭川会会議】Asahikawa School 今後のスケジュールほか
- 2014/7/30 【Asahikawa School 14 「中富良野町総合センター～太陽光と地中熱を利用した複合施設」】開催
- 2014/7/30 【2014年度第4回旭川会会議】旭川市総合庁舎パネル展について、6～9月期予算ほか
- 2014/8/22 【2014年度第5回旭川会会議】Asahikawa School 15 「ルイス・カーンの建築を語る vol.2」  
企画内容、旭川市総合庁舎パネル展について（概算予算他）
- 2014/8/25 【第3回正副委員長会議～ノルベサビールパーティー】軽部出席
- 2014/9/03 【2014年度第6回旭川会会議】旭川市総合庁舎パネル展についての最終打合せ他
- 2014/9/22 【Asahikawa School 15 「ルイス・カーンの建築を語る Vol.2」】開催
- 2014/9/22～9/29 【「旭川市総合庁舎展～旭川スタイルその源流と系譜」】旭川フードテラス1階にて開催
- 2014/10/16 【2014年度第7回旭川会会議】旭川市総合庁舎パネル展についての決算報告、今後の旭川会の  
勢と取組み方 Asahikawa School 16, 17 の  
企画内容について
- 2014/11/11 【Asahikawa School 16 「古代測量から現代までの歴史～技術発展」】開催
- 2014/11/26 【第5回正副委員長会議】軽部出席
- 2014/12/08 【2014年度第8回旭川会会議】JIA北海道建築展・旭川市総合庁舎展 VOL.2 開催について
- 2014/12/11 【第6回正副委員長会議～北海道支部忘年会】軽部出席
- 2014/12/16 【Asahikawa School 17 「北欧の建築とデザイン～北欧研修旅行から」】開催  
その後、【Asahikawa School 番外1 会員外の方々と納会】開催
- 2014/12/29 【2014年度第9回旭川会会議～旭川会忘年会】JIA北海道建築展・旭川市総合庁舎展 VOL.2 開催  
について
- 2014/12/29 【Asahikawa School 番外2 会員の年末納会】開催
- 2015/1/21 【JIA北海道建築展2015～旭川会パネル・模型の搬入】
- 2015/1/23 【JIA北海道建築展2015レプションパーティー（新年交礼会）】軽部、重綱、齋藤出席
- 2015/1/25 【JIA北海道建築展2015～旭川会パネル・模型の撤収】
- 2015/2/03 【2014年度第10回旭川会会議】旭川市総合庁舎展 VOL.2 設営及び当番などについて
- 2015/2/05 【2014年度旭川会臨時打合せ】旭川市総合庁舎展 VOL.2 スケジュール・当番最終確認
- 2015/2/06 【旭川市総合庁舎展 VOL.2】設営
- 2015/2/07～2/15 【旭川市総合庁舎展 VOL.2 開催】A.S.Hアトリウムにて開催
- 2015/2/15 【旭川市総合庁舎展 VOL.2】撤収
- 2015/3/20 【2014年度旭川会臨時打合せ】2015年度の運営について話し合い
- 2015/3/24 【第8回正副委員長会議】軽部出席

—— 道東地区 ——

委員長 眞壁 喜男  
副委員長 小野寺 一彦

■ 2015年1月22日～1月25日

北海道建築展2015にて札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」に地区会展示として2007年から2013年までの釧路・十勝の活動の様子をパネルで紹介。  
又、保存再生委員会の展示には釧路から北海道有形文化財の根室の「和田屯田兵村の被服庫」改修案、十勝からは「太平洋沿岸の十勝のトーチカ調査」を展示しました。

1) 2015年1月20日

J I A 関東甲信越支部横浜地域会の山口氏より、今後の交流について対談。

2) 2015年2月10日

アサヒ・セミナー

他、J I A 北海道支部事務局での正・副委員長会議と幹事会出席（正・副8回、幹事会3回）。

-----建築技術デザイン委員会-----

委員長：小室雅伸

1) 第3回北海鋼機デザインアワード

2014年6月1日に募集開始、応募21作品。2015年3月11日に第1次審査を行い6作品を二次審査に選定。4月4,5日の2次審査の結果 下記の表彰を決定した。

最優秀賞 作品名：「籤・HIGO」 設計者：中山 眞琴

優秀賞 作品名：「北見信用金庫紋別支店」 設計者：菅原 秀見

奨励賞 作品名：「Small Office」 設計者：大塚 達也・湊谷 みち代

2) 北海鋼機デザインアワード本の制作に向けての準備座談会を7月17日に行った。

(小室雅伸)

——支部建築家資格制度委員会——

委員長：山之内 裕一 副委員長（本部委員）：大田 司  
委員：中藪 則喜、羽柴 功一、澤 康昌、岡田順博

■ 本部・資格制度委員会（WEB会議）

JIA が進めている「正会員は全員登録建築家に」というスローガンのもと、支部資格員会を通して正会員全員に周知することが大切であるとの議論を行いました。

なぜ、正会員全員が登録建築家にならなければならないのか？といった、ベースになる議論と公益社団法人としての責務、また国家資格への道筋などをふまえた建設的な議論の喚起が今、望まれています。いずれも、時間がかかる協議のため、今後の職能・資格制度委員会で制度の見直し含めて継続協議していくこととなります。

■ 実務訓練部会

前年度同様、実質的な活動は行われておりません。

■ 登録建築家更新審査

2015年3月に、登録建築家更新審査を行いました。

今回の更新予定者は北海道支部全体で19名です。そのうち実際に更新の手続きをされたのは15名で更新率は78.9%でした。（4名は更新を希望されませんでした。）

3月3日、申請内容の調査を支部資格制度委員会で行い、支部認定評議会による審査を3月16日に行いました。評議会では、15名全員の更新要件審査を行い、規定の更新要件を満たしていると判断し、本部認定評議会へ審査結果を送付しました。

その結果3月31日の本部認定評議会で15名全員の更新が認定されました。

■ 登録建築家の新規認定審査

今回は、新規申請が1件ありました。支部資格委員会および支部認定評議会にて提出された資料に基づき、新規認定相当と認め本部認定評議会へ審査結果を送付しました。

その結果3月31日の本部認定評議会で1名の新規登録が認定されました。

以上、2014年度、支部建築家資格制度委員会の活動報告です。

—— 建築相談委員会 ——

委員長 奈良 顕子  
副委員長 國澤 全克

2014年度内に、建築相談はありませんでした。

本部委員 笹栗 達夫  
委員長 上遠野 克

北海道の「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」の対応とJIA災害対策委員会の支部窓口の委員会です。

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などの震災が多くの被害をもたらし、多くの貴重な教訓を残しました、被災建築物による二次的被害を防止・軽減するための「応急危険度判定」が重要とされ、平成7年度以降、震災建築物応急危険度判定士の認定・登録や全国の判定協議会と連携が行われ、北海道でも各支庁の協議会や建築関連団体が協力して相互支援の連絡協議会の早期の設立が求められ「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」は2006年2月より活動をはじめています。

また、2013年12月からはJIA本部災害対策委員会と連携することとなり北海道支部の災害対策委員として北海道支部も参加しており、JIA全体としての災害時の支援活動の枠の中に位置づけられるようになっていきます。

2014年度から新たな北海道支部の災害対策委員会が立ち上げられました。災害対策委員会は災害時のネットワークとしてワンストップな機能が求められることから**支部4役**、正副委員長、各地区の代表となっており、総勢34名となっています。

15年度からは組織改編（全国会議化）が予定されており災害対策委員会としては14年度いっぱい解散となります。

#### ■ 14年度活動報告

□ 5月8日、北海道支部災害対策委員会の立ち上げセミナー開催。

講師 本部災害対策委員長 岡部 則之 氏

□ 4月24日、5月23日、6月24日、9月17日、10月17日、12月5日  
1月15日、2月6日、3月23日 WEB会議参加（笹栗）

—— 国際交流委員会 ——

委員長 小西彦仁

2014 年度に国際交流に関する事業はありませんでした。カタルニア建築協会との交流は今後も継続予定です。

1) JIA 全国学生卒業設計コンクール 2014

毎月の WEB 会議を行ない、全国 JIA の担当者の協力のもと自主費用により、新宿アイランドタワーBF1F・アクアプラザにおいて JIA 全国学生卒業設計コンクール 2014 開催致しました。

北海道支部から選出された 3 名、坪内 健君(北海道大学)、成ヶ澤 はるみ君(北海学園大学)、山崎 貴生君(北海学園大学)が参加、山崎君がファイナリストに残りましたが、惜しくも入賞はなりませんでした、各支部、地域会から選出された全国の作品を前に審査員、各支部地域会担当者、学生達が真剣な議論と評価を繰り返す、建築家が選ぶコンクールは、学生達の心に残る、全国で試される良いコンクールでした。

2014 年 6 月 27 日(金)作品搬入

6 月 28 日(土)公開審査、講評、表彰、懇親会

6 月 29 日(日)展示会、作品搬出

審査委員 大野秀敏(審査委員長)、佐々木睦朗、竹内昌義、八木佐千子、西田司(敬称略)

2) JIA 北海道支部学生卒業設計コンクール 2015 審査経過

2013 年 12 月 15 日 ワーキンググループにて日程、各大学、高専、短大、専門学校に案内を発送

2014 年 1 月 15 日 ワーキンググループにて審査員を確定

審査員長 下村 憲一(環境設計) JIA 会員

審査員 堀尾 浩(堀尾浩建築設計事務所) JIA 会員

五十嵐 雄祐(五十嵐ユースケ設計室) JIA 会員

以上の三氏による審査を決定

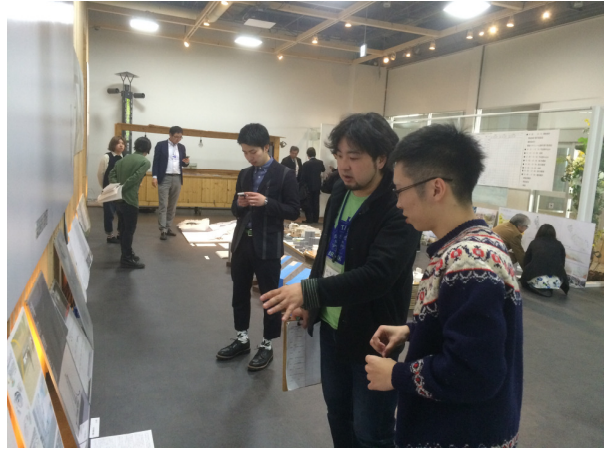
3 月 20 日(金) ユビキタス協創広場 U-cala (札幌ファクトリー1条館1階)において公開審査にて厳正な審査の基、審査員の投票結果をもとに協議し、金賞 1 点、銀賞 1 点、銅賞 1 点、四位、審査員特別賞 2 点選出。

5 月 7 日(木) JIA 北海道支部総会において各賞の表彰状を授与予定。

審査風景(全国)



## 公開審査風景（北海道支部）



## 入賞者

受賞者 氏名	賞名	作品タイトル(サブタイトルまで)	大学(学部不要)
山田 竜平 (やまだ りょうへい)	金賞	社の医	北海道科学大学
中山 琴未 (なかやま ことみ)	銀賞	Intraction Line	北海道芸術 デザイン専門学校
菊池 翔太 (きくち しょうた)	銅賞	生活の貯蔵庫	北海道科学大学
成田 太一 (なりた たいち)	審査員特別賞(下村)	断面の風景 ～伝統的建造物と空家が混在する中で	北海学園大学
熊谷 浩紀 (くまがい ひろき)	審査員特別賞(堀尾)	1200mmの振る舞い	北海道科学大学
佐藤 桃次 (さとう ももじ)	審査員特別賞(五十嵐)	超相互依存自力本願的集合住宅	室蘭工業大学
参加者(全参加者) 氏名	—	作品タイトル(サブタイトルまで)	大学(学部不要)
中山 琴未	なかやま ことみ	Intraction Line	北海道芸術 デザイン専門学校
三木 翔平	みき しょうへい	市場動力機関港_20XX	札幌市立大学
佐藤 桃次	さとう ももじ	超相互依存自力本願的集合住宅	室蘭工業大学
塚越 竜也	つかこし たつや	間の家	室蘭工業大学
成田 太一	なりた たいち	断面の風景 ～伝統的建造物と空家が混在する中で	北海学園大学
大石橋 巧	おおいしばし たくみ	結 ～地域を分断しない駅	北海学園大学
山田 竜平	やまだ りょうへい	社の医	北海道科学大学
菊池 翔太	きくち しょうた	生活の貯蔵庫	北海道科学大学
熊谷 浩紀	くまがい ひろき	1200mmの振る舞い	北海道科学大学
小林 美希	こばやし みき	朽ち縄を紡ぐ蛇(くちなわをつむぐへび)	北海道大学

—— 選挙管理委員会 ——

委員長 橋本 敏明

2014年度支部役員の任期満了に伴う支部幹事及び監査役の改選選挙を実施しました。支部幹事のうち11名、支部監査のうち1名が改選となり、その後の支部総会で選任されることとなります。3月5日に第一回告示を行い3月16日に届出を締切りましたが、期日までに届出があり定員に達しませんでした。3月17日に改めて第二回告示を行い、締切り期日までにそれぞれ定数の立候補届け出があり受理しました。

資格審査の結果、支部選挙規定に全員適合しておりましたので次期幹事及び次期監査として当選人に決定いたしました。

—— 支部規約検討委員会 ——

委員長 橋本 敏明

支部規約検討委員会は、JIA全体の規定等見直しに伴い、北海道支部規約の改定案を作成しました。本部総務委員会の指導の下、北海道支部総務委員会と協力して前々年度より作業を進めてきた支部規約最終改定案作成作業を行いました。

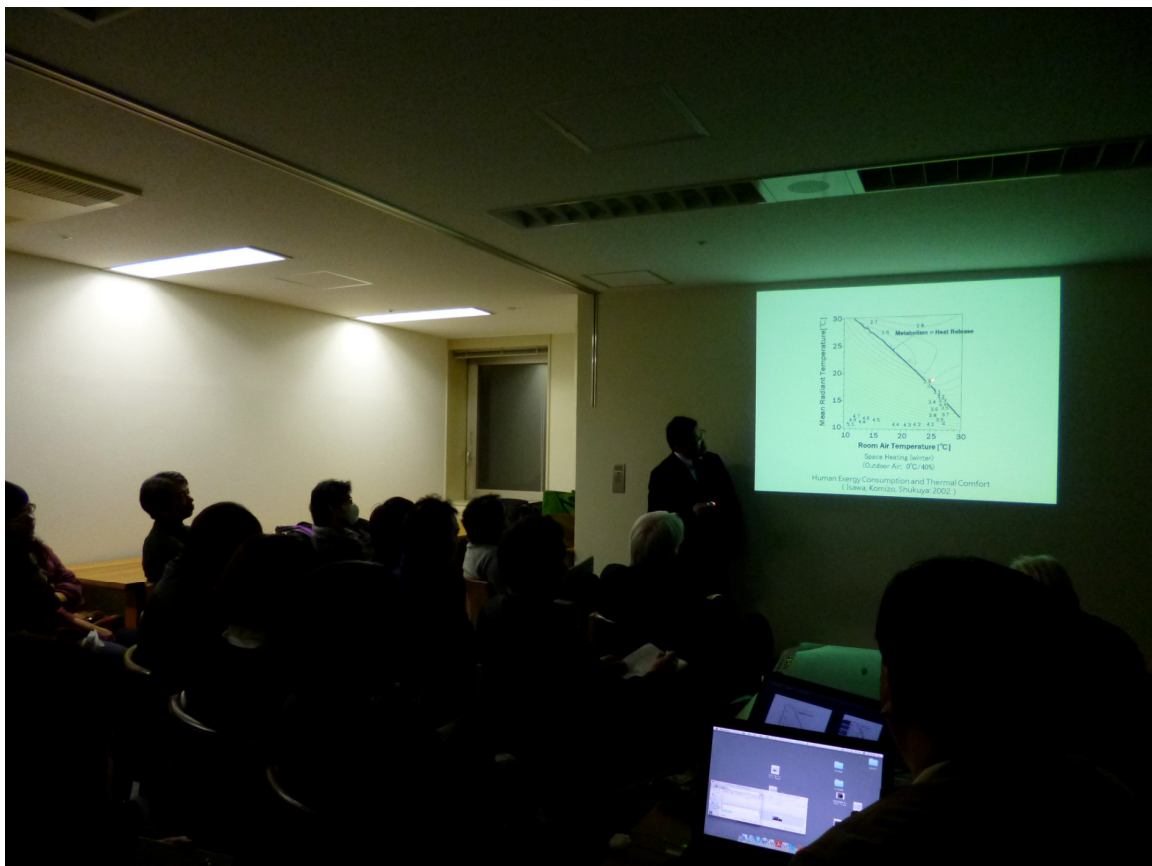
—— 住宅部会 ——

住宅部会代表世話人 灘本 幸子  
副代表世話人 大杉 崇  
副代表世話人 五十嵐雄祐  
会計世話人 小尾 慎  
I T世話人 鷺見 健二  
世話人 赤坂 真一郎  
： 石塚 和彦  
： 新貝 孝之  
： 河村 直記  
： 辻 和永  
： 弘田 亨一  
： 丸田 知明  
監 査 真壁 喜男

2014年4月18日 2013年度 キタコブシ賞贈呈式 記念講演（講演 越野武）  
7月11日 2014年度 第1回世話人会開催  
7月25日 2014年度 住宅部会総会開催  
7月28日 2014年度 第1回住宅賞選考委員会開催  
8月20日 2014年度 第2回世話人会開催  
9月 5日 臨時総会開催（住宅部会の活動と住宅賞について）  
9月26日 JIA 建築家大会 2014 住宅部会連絡会議 出席  
10月31日 新ナイトセミナーvol.1開催（講師 上原 秀晃）  
12月19日 忘年会+レビュー（KBビル5階（画工房） ケニー・バレル）  
2月13日 新ナイトセミナーvol.2開催（講師 圓山 彬雄/齊藤 雅也）



新ナイトセミナーvol.1 (講師 上原 秀晃)



新ナイトセミナーvol.2 (講師 圓山 彬雄/齊藤 雅也)

## 第五回JIA「テスクチャレンジ設計コンペ」受賞結果

テーマ：「五感リノベ」身体感覚を活かしたリノベーションで北国のポテンシャルを引き出せ！

最優秀賞 作品名：懐かしい風景

氏名：中野 剛育

勤務先：鈴木理アトリエ一級建築士事務所

氏名：佐藤 孝祐

学校：北海道工業大学大学院 建築学科 修士1年

氏名：菊池 翔太

学校：北海道工業大学 建築学科 学部4年

優秀賞 作品名：水時計

氏名：中山 琴未

学校：北海道芸術デザイン専門学校

優秀賞 作品名：空を忘れたわたしたちへ

氏名：長沢 麻未

学校：北海道大学工学院

コンペを終えて

北海道らしい設計競技のあり方として「環境目線で時流を捉えたテーマを解く」というスタイルが少しずつ認知され定着してきたことを感じている。また国も従来は一部を除き努力目標としてきた省エネ基準を2013年に見直して、断熱と一次エネルギー消費による評価を義務化し2020年の完全施行に向け全国で設計者、施工者を対象に省エネ技術講習を実施している。まさにこれからの建築が環境的な性能の必要性を認め大きく変わろうとしている。第五回目は62組のエントリーがあり29作品が出展され審査が行われました。当コンペの特徴である公共空間を使った公開審査は2014年6月22日に例年通り「札幌駅前通地下歩行空間」にて行われました。9作品が最終選考に残り各設計者のプレゼンテーションを踏まえ審査委員による投票の結果、上記3作品が選ばれました。一方、反省点としてはコンペが回を重ね認知度が深まるにつれ、コンペの運営上の明解なルールや周知の方法にさまざまな矛盾を生じてきた点を審査委員から指摘されたことです。毎回さらによきコンペにしようという実行委員の想いとは裏腹に従来一般的な意匠系コンペとは異なるスタイルが違和感の原因でした。そうした点は素直に第六回に生かして行こう。ということで実行委員全員のコンセンサスを得ました。

審査 委員長 齋藤雅也 (北海道札幌市立大学デザイン学部大学院デザイン研究科准教授)

委員 上遠野 克 (建築家 J I A北海道支部支部長)

丹 英司 (㈱テスク代表取締役社長)

山田 深 (室蘭工業大学大学院くらし環境系領域建築ユニット准教授)

石塚和彦 (建築家 石塚和彦アトリエ一級建築士事務所 代表)

**後援** 国土交通省北海道開発局、北海道、地方独立行政法人 北方建築総合研究所、札幌市、札幌商工会議所、財団法人 北海道建築指導センター、社団法人 日本建築家協会東北支部、社団法人 日本建築学会北海道支部、社団法人 北海道建築士会、社団法人 北海道建築士事務所協会、社団法人北海道建築技術協会、社団法人 インテリア産業協会北海道支部、社団法人 日本建築積算協会北海道支部、一般社団法人 日本建築構造技術者協会北海道支部、北海道インテリアプランナー協会、北海道インテリアコーディネーター協会、新建築家技術者集団北海道支部、北海道デザイン協議会、株式会社 テレビ北海道、FMノースウェーブ、株式会社 札幌社、株式会社 北海道建設新聞社、株式会社 北海道住宅通信社、㈱リフォーム産業新聞社、㈱北海道新聞社

—— 苦情対応委員会・職責委員会 ——

委員長 中原 隆一  
副委員長 中藪 則喜

会員に対する苦情相談が1件ありました。内容は、「住宅の基本設計時において、委託者・受託者の最終合意が得られなかったケースについての、委託料の考え方の相違」によるものでした。苦情は、書面で支部に寄せられましたが、ヒアリングの結果、既に弁護士等の第三者が入り、或る種法的な立場での調整が行われている為、J I Aとしては経過を見守る旨の返答を書面でするに留めました。

## 2014年度の活動報告

本年度は、1月22日～25日に北海道建築展 2015 を開催し無事成功裏に終えることができました。この展覧会そもそもの目的は建築家の職能を一般市民に広げる事であり、JIA の存在の意義を広げる事を含みます。この建築家集団が住宅をはじめ様々な建物をただ単に設計するのではなく、環境、社会、街並などの様々な要因により建物を創作していると言う事をお伝えする機会になったのではないかと思います。

当展覧会では、各会員のパネル展示、模型、そして JIA が行っている様々な社会活動のパネル展示を致しました。また北海道全域に広がる会員の活動を伝えるため、地区会展示も行いました。我々の会をサポートしていただいている法人協力会の展示も行われました。会期中にはセミナーやワークショップ等を含め多くの市民に参加を頂き有意義な4日間の展覧会になったのではないかと思います。

次回の展覧会に向けまして、上遠野支部長を交えまして今回の展覧会の経験をベースに展覧会開催の間隔や企画について既に協議が開始されております。

最後に法人協力会をはじめこの展覧会に尽力頂きました会員及び関係者に感謝申し上げます。

■ 委員長 小西彦仁(記)

副委員長 前川尚治 委員 赤坂真一郎 五十嵐雄佑 石塚和彦 小杉朋希 丸田知明